

■ベルギー：政府が脱原発政策による卸電力料金の上昇を予測

2014年10月21日付の記事によると、ベルギー連邦計画管理局は同月、2025年までの段階的な脱原発により、2020年には卸電力料金が2010年の1.6倍、2030年には同1.7倍となるとの見通しを示した。同国には約590万kWの原子力発電所が存在し、同国発電電力量全体の約5割を賄っているが、2015年のドエル発電所（43万kW）を皮切りに、2025年には原子力はすべて廃止される予定である。代替エネルギーとして再エネに加えガス火力の確保が急務となっていることから、前政権時代の2014年6月には80万kWのガス火力入札が実施され、種類に応じて運転開始後6～7年の間補助を受ける予定であったが、10月に発足した新政権は原子力・再エネ政策の状況を見極めるとしてこの入札プロセスを一時停止している。